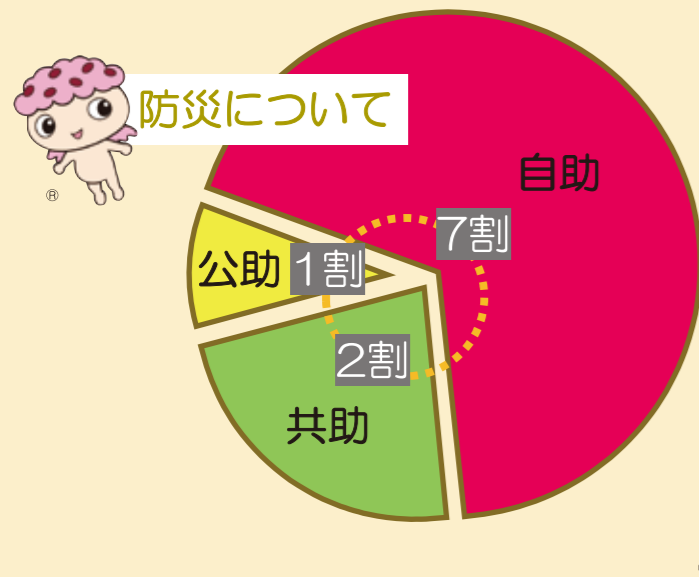


羽生市 Hanyu City Earthquake Hazard Map  
地震ハザードマップ

ハザードマップの使い方

防災の基本は、「自助」です。

災害が発生した場合、救急・救助等により消防や警察の支援が遅れたり限界がある場合があります。このような時に大切なことは、自分の身を守るための「自助」の取り組みです。



ステップ1 自宅周辺を確認

ハザードマップで自宅の位置、想定される被害の状況を確認しましょう。

ステップ2 避難経路を確認

最寄りの避難所等を確認して、避難経路を考えてみましょう。

ステップ3 避難経路を歩く

「ステップ2」の避難経路を実際に歩き、問題があれば見直しましょう。

ステップ4 家族等との確認

家族やご近所の方等と「ステップ1～3」について話し合ってみましょう。

「ステップ1～4」は、「自助」の第1歩！



地震ハザードマップとは？

地震ハザードマップとは、地震に関する情報等を提供することにより、日頃からの防災意識の向上を図り、地震発生時には、速やかに避難するために参考にしていただくためのものです。地震ハザードマップで自宅周辺の状況を確認するとともに、実際の地震では、想定通りの震度や被害が発生するとは限りませんので、非常用品の備蓄や家具の転倒防止対策等、日頃からできる備えを実践していきましょう。

地震ハザードマップのお問い合わせ先

地域振興課

〒348-8601 埼玉県羽生市東6丁目15番地  
TEL: 048-561-1121 / FAX: 048-563-2322

平成30年3月（令和7年4月改訂）

こんな時どうすればいいの？

洪水発生時の心構えとポイントを確認しましょう。

緊急地震速報

！緊急地震速報！

地震の揺れを感じる直前のお知らせ

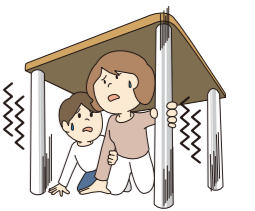
- 「緊急地震速報」は、地震発生直後に各地での強い揺れや震度を予想し、その情報を可能な限り素早く伝えるものです。
- 震源地に近い地域では、速報が間に合わないことや震度等の情報に誤差が生じることがあります。



地震発生

自分の命を守る

- 机の下等へ避難しましょう。
- 慌てて外に飛び出さないようにしましょう。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保しましょう。



～5分

地震が収まったら

- 自分と家族の安全を確保しましょう。
- 室内に散乱したガラスの破片等から足を守りましょう。
- 余震に注意しましょう。



～10分

避難に向けて

- 近隣地域の安全を確認しましょう。
- テレビ、ラジオやインターネット等で情報を入手しましょう。
- 避難所等に移動するときはガス栓をしめ、ブレーカーを落としましょう。



～数時間

共助の心も大切に

- 協力して消火・救出活動を行いましょう。
- 壊れた家には戻ったり、入らないようにしましょう。



安否確認は「災害伝言ダイヤル171」で！

3日以降

避難所生活の心得

- 避難所等では集団生活のルールを守り助け合いましょう。
- 避難所等の集団生活では、人の居住スペースをのぞいたり、大声を上げたりして、他の人に迷惑を掛けないように注意しましょう。
- 要配慮者等への心配りも大切にしましょう。